

金融市場NOW

インフレ圧力の高まりから景況感の悪化が続く

インフレ圧力が弱まらず利上げが継続すれば、景況感の低迷が続く可能性も

- ▶ 高まるインフレ圧力から米・ユーロ圏の総合PMIが前月より悪化。欧米と比較して相対的にインフレ率は低いものの、新型コロナウイルス感染者数の増加などから日本の総合PMIも前月より悪化。
- ▶ 原材料価格高騰や供給網の混乱などから、製造業、サービス業ともに景況感の前月より悪化。
- ▶ インフレ抑制のための利上げが継続すれば、今後も景況感が低迷することも。

～ 日米欧の景況感が50を割り込む ～

S&Pグローバルが23日に発表した8月の米国総合PMI（購買担当者景況感指数、速報値）は45.0と7月の47.7から2.7ポイント低下し、新型コロナウイルスの感染が拡大し始めた2020年5月以来の低水準となりました。また、ユーロ圏の総合PMIも49.2と7月の49.9から0.7ポイント低下、日本の総合PMIも48.9と7月の50.2から1.3ポイント低下し、いずれの国・地域も好不況の境目とされる50を割り込みました（図表1）。米・ユーロ圏では利上げや前年同期比で8%を超える高いインフレ率が景況感を低下させたとみられます。日本は米・ユーロ圏と比較して相対的にインフレ率は低いものの、感染第7波により一週間あたりの新型コロナウイルス新規感染者数が世界最多となっていることなどが、景況感の悪化要因となったと思われます。

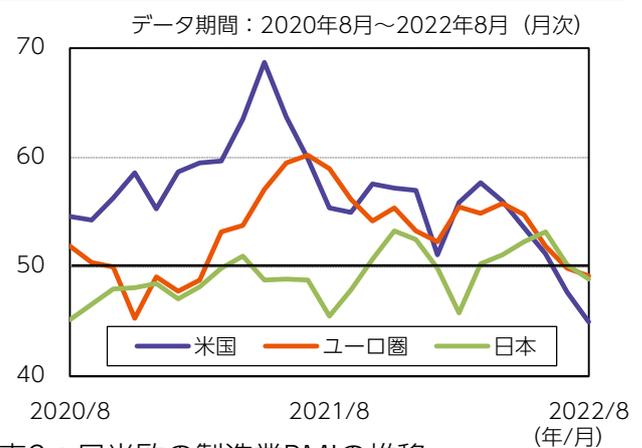
～ 製造業・サービス業ともに前月から低下 ～

ユーロ圏の製造業PMIが49.7(同-0.1)（図表2）、米国のサービス業PMIが44.1(同-3.2)（図表3）、と50を割り込むなどいずれの国・地域も製造業・サービス業ともに前月から低下しました。ウクライナ危機の長期化などによる原材料価格の高騰や供給網の混乱、物価高騰による生活費上昇にともなう家計の支出削減などが影響していると考えられます。

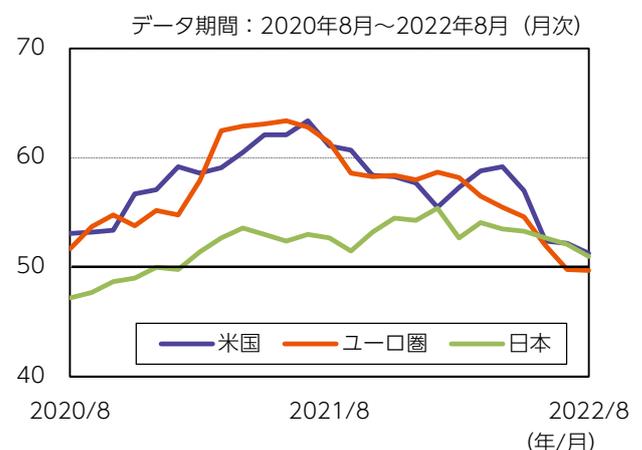
～ 利上げ継続により景況感低迷が続くことも ～

インフレ圧力が高い欧米ではインフレ抑制のため、中央銀行が今後も利上げを継続する可能性が高いとみられていることから、景気減速懸念による景況感低迷が続くことが想定されます。欧米に比較して相対的にインフレ率が低い日本も、欧米の景況感が悪化していることやコロナ感染者数が高い水準にあることから、欧米同様に景況感低迷が続くことが想定されます。

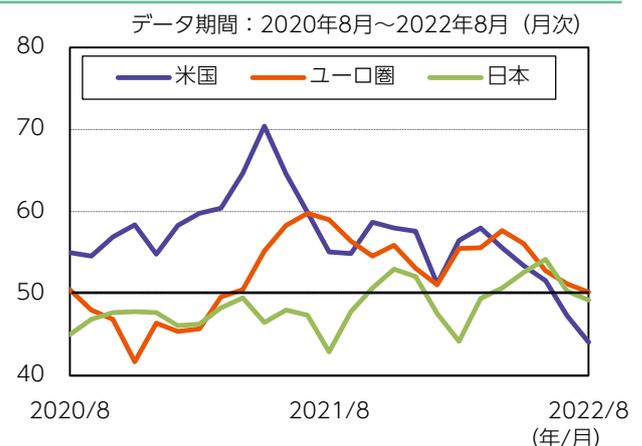
図表1：日米欧の総合PMIの推移



図表2：日米欧の製造業PMIの推移



図表3：日米欧のサービス業PMIの推移



出所) 図表1～3はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>